

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	神戸国際大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	コウベコクサイダイガク
	大学等名2(連携大学等)	
	科目名	インターンシップⅢA
	学部・研究科等名	経済学部
	担当教職員名・役職	松本かおり准教授
	受講者数(H28年度実績)※インターンシップ参加者数	3
	受入企業等数	3
	受入企業等名	社会福祉法人あかね一般財団法人兵庫県雇用開発協会株式会社イ ング
	インターンシップの分類	8.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型 のインターンシップ
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事2.企業等における課題の解決(例: ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究 等)
	1-2.以外の就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップでは、通常のアルバイトでは経験できない体験を通し て社会で働くということを実際に肌で感じる貴重な機会だと捉えてお り、受入先にはできるだけ実践的な業務の体験や社員の方々との交 流を持たせていただくよう依頼しております。実際に社員の方々が担 当しておられる現場の業務や顧客対応、事務手続きの他、課題解決 を目的としたグループディスカッションも体験し、社員の方よりフィ ードバックをいただきました。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラ バス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果 を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われ ていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している。6.当該 インターンシップは、選択科目として実施している。8.当該インターンシ ップは、休業期間中に実施している
	2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	3年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップはただ単に参加すればよいというものではない。受 入先の企業がこの学生を受け入れてよかったと言ってくれるように、 周至な準備をしておきたい。そのために、この授業では、主にビジネ ス・マナーの最終確認と、受け入れ企業の会社研究をおこなったうえ で、学生はインターンシップに参加する。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的 のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間 が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮さ れるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施してい ますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコン の使用方法等を身に付ける授業等を行っている。2.学生が受入企業の 事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている。4.学生に対して、 正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教 育的効果の理解を促している
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行ってい る。3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	企業研究、志望動機の作成、ビジネスマナーの復習、業界・業種・職 種の理解、仕事に取り組む姿勢の学習、仕事内容の把握など。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	レポート課題の提出と受入先評価のフィードバック等。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手 法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施 し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	「事前学習」と「事後学習」にあたるレポート課題の提出、また受入先 の評価票などを元に単位認定を行っている。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシ ップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	5日間
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記 述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記 述欄)	
	5-2.以外の実施期間の内容(記述欄)	
5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	単位認定は原則5日間以上のインターンシップ参加を条件としてい る。	

要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している。5.企業等と協働して作成した評価シートを活用し、具体的な効果を数値化して測定している
	6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	受入先と協働し、インターンシップ評価票を作成いただいている。マナーや意欲、実習内容等についての総合評価と各学生への具体的な指摘をいただいている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://kobe-kiu-web.campusplan.jp/public/web/Syllabus/WebSyllabusSansho/UI/WSL_SyllabusSansho.aspx?P1=A832200&P2=2017&P3=20170401
問い合わせ先	大学等名	神戸国際大学
	担当部署名	キャリアセンター
	担当者役職名	室長木村憲幸
	担当者氏名	馬淵有美
	電話番号	078-845-3109
	メールアドレス	syuusyokuka@kobe-kiu.ac.jp